

行政評価（公共施設等の最適化）結果を公表します

本市では「飯塚市第2次公共施設等のあり方に関する基本方針」及び「飯塚市公共施設等のあり方に関する第3次実施計画」を策定し、公共施設等の最適化に向けた取り組みを推進しています。

第3次実施計画に示す公共施設等の最適化方針に係る平成28年度から令和2年度までの進捗状況について、1月13日、2月18日の2日間、行政評価委員会を開催し「行政評価」を実施しました。

実施概要

- ◆評価体制・・・飯塚市行政評価委員会委員（有識者、市民で構成） 8名
- ◆評価区分・・・「公共施設等のあり方に関する第3次実施計画」に定める8つの最適化区分
- ◆評価方法・・・8つの最適化区分ごとの進捗状況について、評価者ごとに「適正」「一部不適」「不適」の3段階で評価

◆評価結果

| 最適化区分 | | 評価結果 | | | |
|-------|-------------|------|------|----|---|
| | | 適正 | 一部不適 | 不適 | |
| ① | 存廃の方針 | 2 | 5 | 0 | |
| ② | 総量の最適化 | 件数 | 3 | 3 | 1 |
| | | 面積 | 0 | 6 | 1 |
| ③ | 配置の最適化 | 3 | 4 | 0 | |
| ④ | 運営主体の最適化 | 2 | 4 | 1 | |
| ⑤ | 運営方法の最適化 | 0 | 4 | 3 | |
| ⑥ | 空きスペースの有効活用 | 6 | 1 | 0 | |
| ⑦ | PPP・PFIの可能性 | 2 | 5 | 0 | |
| ⑧ | 跡地・跡施設の有効活用 | 1 | 5 | 1 | |

【主な委員意見】

- 事業の進捗を踏まえて、目標達成のためにはより柔軟な運用が必要である。
- 今後の計画で具体性を持たせること。年次毎の課題を整理し、取り組みを進めること。
- 達成目標の見直しも視野に入れて今後の計画を検討する必要がある。
- 公共施設は、災害時の避難場所にもなるため施設の統廃合などの検討は慎重に行う必要がある。
- 各種スペースを活用し、住民が利用できる快適な環境が整ってきた現状は評価できる。
- 実績を情報開示しながら、さらに市民と協議し取り組みを進めていく方策が望まれる。

※上記内容は、行政評価委員会から市長へ提出された提言書より一部抜粋したものです。詳細は市ホームページに掲載しています。

●問い合わせ 財産活用課（☎内線1411）